



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日  
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社  
コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務・経理担当 (氏名) 加藤 貴子 TEL 03-5548-8613  
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	26,293	53.8	10,464	81.7	11,224	93.3	7,659	49.8
2022年3月期第2四半期	17,092	98.1	5,758	—	5,807	—	5,112	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,552百万円 (48.1%) 2022年3月期第2四半期 5,099百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	306.06	—
2022年3月期第2四半期	204.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	69,012	32,039	46.4	1,279.06
2022年3月期	66,137	29,882	45.2	1,194.49

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 32,039百万円 2022年3月期 29,882百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	6.00	—	218.00	224.00
2023年3月期	—	6.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	167.00	173.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,249	20.4	13,064	△2.3	13,700	1.1	9,303	△21.5	371.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	26,072,960株	2022年3月期	26,072,960株
2023年3月期2Q	1,023,358株	2022年3月期	1,056,058株
2023年3月期2Q	25,026,346株	2022年3月期2Q	24,989,447株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2022年11月25日（金）に、機関投資家向けのオンライン決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明会内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業における堅調なハンディ船市況や為替の影響等により、売上高は前年同期比9,200百万円増収(+53.8%)の26,293百万円、営業利益は前年同期比4,705百万円増益(+81.7%)の10,464百万円、経常利益は前年同期比5,417百万円増益(+93.3%)の11,224百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2,547百万円増益(+49.8%)の7,659百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

## ①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるハンディ船市況は、前年を上回る水準が続いていたものの、当第2四半期後半に向けて、米中市場における荷動きの鈍化による影響が出てまいりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に起因した海上輸送の混乱は解消に向かいつつあり、ゼロコロナ政策を継続する中国を除いた各国各港での検疫緩和・撤廃により、港湾処理能力が改善し、輸送能力が向上したことも、運賃上昇圧力を抑える要因となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、堅調なハンディ船市況時に成約した航海の影響により、売上高は前年同期比9,252百万円増収(+72.2%)の22,074百万円、セグメント利益は前年同期比4,918百万円増益(+96.6%)の10,012百万円となりました。

## ②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期をやや上回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、連結子会社の引越業において、新型コロナウイルスの感染拡大により需要の低迷が継続しており、売上高は前年同期比48百万円減収(△2.4%)の1,963百万円となりました。セグメント利益は減価償却費の減少等により前年同期比21百万円増益の2百万円となりました。

## ③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、軟調な状態が続いており、今後も新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけとしたテレワークの普及により、オフィス需要の鈍化が懸念されます。その一方で、東京23区の賃貸マンション市況については単身者用住居等を除き、引き続き堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件は概ね安定して高稼働を維持しておりますが、シェア型企業寮である月島荘はその特性から稼働率が低下しており、売上高は前年同期比3百万円減収(△0.2%)の2,254百万円となりました。セグメント利益は賃貸物件の保全に伴う修繕費の増加や電気料の上昇等により前年同期比69百万円減益(△5.6%)の1,162百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末比2,875百万円増の69,012百万円となりました。負債は、未払法人税等や固定負債のその他に含まれる繰延税金負債の増加等により前連結会計年度末比718百万円増の36,972百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2,157百万円増の32,039百万円となりました。

この結果、自己資本比率は45.2%から46.4%になりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1,896百万円増加し、22,131百万円となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、8,589百万円（前年同期比17.6%増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益11,225百万円、法人税等の支払額2,440百万円等によるものです。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、1,849百万円（前年同期比75.0%増）となりました。これは主として、固定資産の取得による支出等によるものです。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、6,429百万円（前年同期比526.3%増）となりました。これは主として、配当金の支払額等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2023年3月期）の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2022年8月10日に公表した前回発表予想を修正いたしました。

外航海運事業の業績予想における市況想定は、海運先物市場に一定のストレスをかけたものを前提としております。第3四半期以降の外航海運事業におけるハンディ船の市況は、ゼロコロナ政策を継続する中国の影響はあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大に起因した航海阻害要因が少なくなり、輸送能力が拡大していることが想定されるため、前回予想をやや下回る水準で推移する予想です。また、外航海運事業収入及び費用の多くがドル建てであるため、急激に進んでおります円安傾向は円換算の業績に影響を与えます。

なお、倉庫・運送事業及び不動産事業は概ね期初想定どおりに進捗しております。

## 2023年3月期通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 45,465	百万円 13,308	百万円 13,778	百万円 9,476	円 銭 378.78
今回発表予想(B)	45,249	13,064	13,700	9,303	371.38
増減額(B-A)	△216	△244	△78	△173	—
増減率(%)	△0.5	△1.8	△0.6	△1.8	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	37,597	13,366	13,550	11,848	473.87

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当四半期連結累計期間実績 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	第3～4四半期前提 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
為替レート(円/1米ドル)	131.14	147.00
燃料油価格(米ドル/MT)	747.92	702.20

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,391	22,446
営業未収金及び契約資産	1,782	2,440
繰延及び前払費用	587	386
貯蔵品	1,153	1,720
その他	1,671	1,669
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,585	28,663
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	18,872	17,771
建物及び構築物（純額）	10,726	10,453
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物（純額）	3,558	3,489
信託土地	204	204
建設仮勘定	282	2,112
その他（純額）	850	777
有形固定資産合計	35,629	35,941
無形固定資産	179	161
投資その他の資産		
投資有価証券	3,602	3,615
その他	1,148	640
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	4,743	4,246
固定資産合計	40,551	40,349
資産合計	66,137	69,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,568	2,741
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	4,303	3,588
未払法人税等	2,651	2,913
賞与引当金	83	94
その他	1,166	1,150
流動負債合計	13,483	13,198
固定負債		
長期借入金	20,076	20,788
退職給付に係る負債	74	81
受入保証金	1,441	1,438
長期前受収益	536	536
特別修繕引当金	575	631
その他	66	296
固定負債合計	22,771	23,773
負債合計	36,254	36,972
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,624	11,652
利益剰余金	15,849	18,055
自己株式	△1,032	△1,000
株主資本合計	29,209	31,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	555
繰延ヘッジ損益	118	9
その他の包括利益累計額合計	673	565
純資産合計	29,882	32,039
負債純資産合計	66,137	69,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	17,092	26,293
売上原価	10,525	14,849
売上総利益	6,567	11,443
販売費及び一般管理費	808	979
営業利益	5,758	10,464
営業外収益		
受取配当金	46	50
為替差益	86	796
その他	50	84
営業外収益合計	183	931
営業外費用		
支払利息	125	147
その他	8	22
営業外費用合計	134	170
経常利益	5,807	11,224
特別利益		
固定資産売却益	1	0
ゴルフ会員権売却益	—	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	5,802	11,225
法人税、住民税及び事業税	1,083	2,753
法人税等調整額	△393	812
法人税等合計	690	3,566
四半期純利益	5,112	7,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,112	7,659

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	5,112	7,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	1
繰延ヘッジ損益	6	△108
その他の包括利益合計	△12	△107
四半期包括利益	5,099	7,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,099	7,552
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,802	11,225
減価償却費	1,674	1,603
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	11
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△23	55
受取利息及び受取配当金	△50	△112
支払利息	125	147
為替差損益 (△は益)	△26	△589
固定資産売却損益 (△は益)	4	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△298	△498
契約資産の増減額 (△は増加)	△91	△159
繰延及び前払費用の増減額 (△は増加)	145	236
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△46	△567
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28	108
契約負債の増減額 (△は減少)	348	△269
未払費用の増減額 (△は減少)	△12	△37
未払又は未収消費税等の増減額	149	△2
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	26	△2
その他	△337	△88
小計	7,370	11,070
利息及び配当金の受取額	50	106
利息の支払額	△127	△147
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	7	△2,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,301	8,589
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,085	△1,845
固定資産の売却による収入	0	0
その他	28	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	△1,849
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	721
長期借入金の返済による支出	△930	△1,721
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△74	△5,420
その他	△18	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	△6,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	1,586
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,316	1,896
現金及び現金同等物の期首残高	7,137	20,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,453	22,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	12,822	2,012	2,258	17,092	—	17,092
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	14	14	△14	—
計	12,822	2,012	2,273	17,107	△14	17,092
セグメント利益又はセグメント損失(△)	5,093	△19	1,231	6,306	△547	5,758

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△547百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△547百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	22,074	1,963	2,254	26,293	—	26,293
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	14	14	△14	—
計	22,074	1,963	2,269	26,307	△14	26,293
セグメント利益	10,012	2	1,162	11,177	△712	10,464

(注) 1. セグメント利益の調整額△712百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△712百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。